



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2020-2021年度 第1週報 No. 2111 2020年(令和2年)7月3日 第2111回 例会記録 7月10日発行

本日〈7月10日〉のプログラム

- ◆ 斉唱 「我等の生業」
- ◆ 献立 洋食弁当
- ◆ 卓話 新年度挨拶
職業、社会、国際、青少年、SAA、プログラム



写真提供 小池 将夫

司会 友添 辰哉 副幹事

特別行事 ◎年度始めセレモニー

点鐘 山本 芳弘 会長

◆認証状引継ぎ

斉唱 「君が代」 「奉仕の理想」



四つのテスト 月山 勇 職業奉仕副委員長
(第1例会のみ)

ゲスト紹介

グエン・バン・ドック 様(米山奨学生)

2020-2021年度 RI 会長 ホルガー・クナーク



ロータリーは機会を開く

第2590地区 ガバナー 吉田 隆男

会 長	山本 芳弘	会 計	白井 康夫
会長エレクト	小山市 康	副 会 計	渡邊 淳
副 会 長	赤堀 和人	S A A	佐藤 勝彦
副 会 長	植田 清司	副 S A A	古澤 一憲
幹 事	田口 健太郎	副 S A A	月山 勇
副 幹 事	友添 辰哉	クラブ会報	池田 広樹

例会日 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
例会場 ホテルキャメロットジャパン
URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

事務局 ホテルキャメロットジャパン内
 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
 TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
創立記念日 昭和51年5月29日

◆直前会長・直前幹事へ記念品贈呈



◆ホテルへ謝礼贈呈



◎米山奨学金贈呈



米山奨学生 グエン・バン・ドゥク 様

皆さん、こんにちは！

ロータリーの新年度、おめでとうございます。

私は2年間、神奈川東ロータリークラブにいます。天野会長、白鳥会長、これからの山本会長にお会いすることが出来てとても光栄です。

これからも引き継ぎ宜しくお願い致します。

会長報告

山本 芳弘 会長

- ・2019-20年度第2590地区轟淳次ガバナーと鈴木慎二郎地区幹事よりお礼状が届いておりますのでご報告申し上げます。

幹事報告

田口健太郎 幹事

- ・地区RAC2020-21年度全クラブ合同例会のご案内が届いておりますので回覧致します。
- ・インターアクトクラブ海外研修報告書が地区から届いておりますので回覧致します。
- ・今年度も引き続き、当日の例会食事数量の変更が出来ません。例会出欠表を毎週回覧致しますので、予定がわかっている場合は出欠可否を記入願います。なお、変更になった場合は例会前日の午前中までに事務局まで連絡をお願い致します。
- ・次週、例会終了後に7月度定例理事会を開催します。
- ・7月のロータリーレートは\$ 1=107円です。

誕生日祝

雨宮 和則 会員（7月5日）

委員会報告

雑誌委員会 委員長 北村 大輔

7月の「ロータリーの友」は、表紙にホルガー・クナークRI会長ご夫妻のとても素敵な写真が掲載されております。RI会長からのメッセージ、本年度RIテーマの「ロータリーは機会の扉を開く」とはどういうことか、などをお話ししております。会長紹介も掲載しておりますのでお読みください。

また、本年度全地区ガバナーの紹介が載っております。26ページに吉田ガバナーご夫妻の笑顔が素敵なお写真と、石川会員からの紹介応援メッセージが掲載されておりますので、是非ご一読ください。

本年度、ロータリーの友委員会委員長 宇都宮北RC所属の鈴木宏会員から、「ロータリーの友」を「心の友」に、という題目でご挨拶が載っております。

7月号より連載コミック、「ポール・ハリスとロータリー」が始まりました。第一章は、ポールの生い立ち（前半）です。ポール・ハリスさんの幼い頃のご苦労や影響を受けた人物などのお話です。

もう一つ、是非読んで頂きたいのが、ジャパネットたかたを退任され、現在（株）A and Live 代表の高田明社長のスピーチです。夢持ち続け 日々精進（しょうじん）、人間は前向きに考えれば道は開ける。「自分が伝えた」と「相手に伝わった」は違うなど、とても意味深くとても為になるスピーチです。

是非、読んでみてください。

地区副幹事（ガバナー月信担当） 馬場 佳子

いよいよ吉田年度がスタート致しました。私もはじめて知ったのですが、ガバナー月信の発祥は当地区（第2590地区）だそう。他地区は会長・幹事のみに配布されているところが多い中、当地区では歴史を重んじて会員全員に配布されている、と聞きました。

吉田ガバナーをはじめ、地区役員のみなさまのメッセージや、小池先生のお写真など、当クラブ会員の情報も多く掲載されていますので、「今まで見たことがない」という方も、是非、ご覧いただければ幸いです。

出席報告

横溝 亘 出席委員長

会員総数	54名	(34+20)名	
出席会員数	39名	(24+15)名	
出席率	79.58%		
ゲスト	1名	ビジター	0名
前回補正後	91.84%	前々回補正後	90.00%

スマイルボックス

佐藤 勝彦 SAA

山本芳弘君 いよいよ本日より新年度スタートです。皆様、どうぞよろしくお願ひ致します。

山木幹夫君 山本丸の出港を祝して。

田邊正彦君 山本丸の出港を祝す。役員、委員長の皆様、一年間よろしくお願ひ致します。

青柳 紀君 山本会長、田口幹事の一年間のロータリーパフォーマンスが楽しみです。

岩澤利雄君 山本会長、吉田ガバナーの誕生、おめでとうございます。

月山 勇君 山本・田口丸の船出です。無事の航海を祈り、&川柳の会も休眠状態です。そこで目覚まし代わりに一句、「山に源(本) 命の水が 田の口に」。一年間よろしくお願ひ致します。

山本 登君 野球は見ておりません。

矢野修二君 山本丸、いよいよ出港ですね！！キャプテンの田口さん、一年間よろしく！無事の帰港をお祈り致します。

伊東英紀君 山本会長、田口幹事の門出を祝し、一年間よろしく！吉田ガバナーよろしくお願ひ致します。

河野明光君 今年度も昨年同様素敵な一年となりますよう期待しています。

飯田泰之君 山本会長、田口幹事、今年度の活躍を期待します。

山田正憲君 山本会長、田口幹事、コロナ禍の中の船出、頑張ってください。

植田清司君 山本芳弘会長、田口幹事、いよいよ新しい年度がスタートしますね。今年一年よろしくお願ひ致します。

天野公史君 山本会長、田口幹事、そして理事・役員の皆様、一年間よろしくお願ひ致します。

白鳥厚夫君 山本芳弘会長、田口幹事、あとをよろしく！

田口健太郎君 本年度、幹事を仰せつかりました田口です。“いまでることから”頑張りますのでよろしくお願ひ致します。

渡邊 淳君 吉田ガバナー年度と山本会長、田口幹事年度のスタートを心よりお祝ひ申し上げます。

西山 潔君 山本会長、田口幹事の出港をお祝ひ申し上げます。理事・役員の皆様、一年間よろしくお願ひ致します。

横溝 亘君 山本丸の出港、おめでとうございます。一年の長旅ですが、田口幹事と程よい舵取りで頑張ってください。

金森欣一君 コロナ禍の中の例会運営、白鳥会長、田中幹事お疲れ様でした。山本会長、田口幹事のご活躍をお祈り致しております。

小山市康君 山本芳弘会長、田口健太郎幹事、就任おめでとうございます。一年間よろしくお願ひ致します。

加野亮一君 今が異常か、これが普通になるのか？山本、田口年度、応援しています。

岡部雄一郎君 新年度、山本会長、田口幹事、コロナに負けず、頑張りましょう。一年間よろしくお願ひ致します。

北村大輔君 山本会長、田口幹事、本年度よろしくお願ひ致します。

7月3日	24件	78,000円
本年度累計		78,000円
年度目標進捗状況		+58%

新年度挨拶

◆会長 山本 芳弘



まず、はじめに新型コロナウイルスの感染症によって、ご逝去されました方々のご冥福をお祈り申し上げます。とともに、ご遺族のご心労を拝察し心よりお見舞い申し上げます。

感染の脅威のなか、献身的に患者さんをお世話いただいている医療従事者の方々には甚深の敬意と、なによりご自身の健康が保たれることを願っております。

世界的な蔓延を続ける新型ウイルスは、まだまだ解明されていない事が多く、暗中模索のなかで不安ばかりが募っております。日本ではSARS、MERSの流行時には、どこか対岸の火事みたいに思っておりましたが、目に見えない敵がこんなにも恐ろしく、厄介なものである事を、はじめて経験させられています。

緊急事態宣言が発令され、自宅待機、学校の休校、会社のテレワーク。いずれも初体験ばかりで、大勢の人は不安を抱え、先の見えないもどかしさの中にいます。

ロータリーの活動も制約され、例会さえ開けない状況が3ヶ月も続きました。例会に集い、ロータリーソングを斉唱し、気の置けない仲間とたわいもない話しができる。そんな普通の風景がどんなに嬉しく、有難い事であるのかを痛感しております。

神奈川東クラブとして、まず大前提今年度に2590地区ガバナーを務められる、吉田隆男ガバナーの所属クラブであるという事です。この事を踏まえ、地区開催行事をはじめ、あらゆるロータリー活動に積極的に協力し、円滑な運営に倍旧の寄与をしております。

ガバナー公式訪問には率先して同行をして、訪問クラブの独自性などに着眼し、自らのクラブ繁栄に結びつけられる事が出来ればと思っております。

ガバナー母体クラブとしての誇りと責任感をしっかりと見つめ、会員各自に意識を持ってもらう事に邁進していくことも会長の責務と心得ております。同時に地区行事とクラブ行事の両立も図っていかねばなりません。相互の連絡を密にして、滞りが起きないように調整もしてまいり所存です。広く会長経験等の会員にも助言を求め、幹事・理事の方々と大いに話し合いを持って運営してまいります。

また、会員の皆さんのモチベーションを上げてもらうためには、有意義で楽しいクラブ活動を行わなければなりません。卓話の充実を図り、ロータリー月間関連、時事問題、芸能・スポーツ・演芸など多岐にわたり研鑽の場を提供してまいります。過去に著名人の公開卓話を行った事もありましたが、状況が許せばこのような事にも挑戦し、クラブ会員のみならず広く大勢の方が楽しめる機会が作れば幸いかと思います。

各奉仕活動では、長年培われてきた諸行事を中心に益々の充実を図りたいと思います。区民まつりの中止をはじめ例年とは違う運営が必要とされますが、臨機応変にことに臨まなければなりません。各奉仕委員長と協力し伝統と刷新をうまく調和させながら進めてまいります。

また、本年度は我がクラブ創設45周年に相当致します。10年毎の大きな祝事ではなく年度末にでも会員相互の慰労と親睦を深められればと考えております。古参会員の話に耳をむけ、クラブの歴史を知り、益々の発展と将来の展望に想いをめぐらす機会が作ればと思います。

最後に、ロータリーでは常に会員増強の問題が提起されますが、現在、当クラブは50からの会員を擁しております。期末にこの数を減らさない事が最低限の責任と感じておりますが、この新型コロナの影響から、100年の中で一番の経済悪化がうたわれています。会員の生業も多大な影響を受けているのも必至であります。自らの立ち位置がしっかりして行えるのがロータリアンである事を考えると、退会者がでてしまう事もないとは言えません。例会のあり方、会費の相談、休会の寛容性やクラブ会則との整合性も場合によっては方便を用いて理事会に提起してまいりたく思います。治療薬もなく、まだまだワクチンの運用は見込めないようです。長期間にわたり新型コロナ対策を強いられる訳ですから、その対応を柔軟に行う事も念頭に置いておく事が必須と存じます。

今までとは違う方法を模索しながら、理事・幹事、会員との連絡をとり、クラブ運営にあたります。会員の皆様のご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

◆副会長 赤堀 和人

本年度副会長及び地区拡大増強、広報公共イメージ委員会担当の地区副幹事を務めることになりました。地区副幹事としての仕事もありますが、まずは自分の所属クラブがあつての地区ですから、山本会長、田口幹事をバックアップして行きたいと思っております。



本年度はコロナの影響の下、我がクラブでも会員の減少は免れないと思っております。会員が居てこそクラブが成り立っているのですから、先ず会員が有意義に楽しく、また、吉田ガバナーのテーマでもある魅力あるクラブでなければ、続かないと思っております。

ポール・ハリスが始めたロータリークラブの時代を振り返り、クラブ内で考え、困っているメンバーがいるならメンバー一人一人ができる範囲で、助け合うことが、今の状況を乗り切る手段ではないですか。

ロータリークラブは10人いれば10人の考え方があるように、これが正しいとか、これが答えだとか、言えないと思っております。でも、その中にもルールがあるのも事実です。メンバーがいるからこそクラブが成り立っているのも紛れもない事実です。一人ではクラブにはなりません。

本年度はコロナの影響を抱えながら過ごす年度となります。医療従事者である山本登先生から完全な終息までは少なくとも三年はかかるから、「なめてかかるなよ」と言われたので、日々の過ごし方、例会での対応等クラブ全体で対応していきましょう。

メンバー一人一人ができる範囲で、協力し相談に乗り助け合い、仲間を信頼し、ためになる魅力ある楽しい神奈川東の良さを出せれば、盤石な揺るがないクラブが出来ると確信します。

本年度は吉田ガバナー、山本芳弘会長年度のサポート役に徹していきたいと思っております。一年間どうぞよろしくお願い致します。

◆副会長 植田 清司



今年度、山本芳弘会長のもと、副会長を仰せつかりました植田です。私は、赤堀副会長を補佐する副会長としてこの一年間頑張りたいと思います。

今年度はコロナ禍にあってなかなか思った通りに事が進まない場面も多々あるかと思えます。

山本芳弘会長は、「何ができるか?」「何をすべきか?」「何をしなければならないのか?」、いろいろ考察した結果、「できることから」を会長テーマとして、進んで行こうとおっしゃいました。今年度のテーマとしては、まさにその通りだと思います。

そして、今年は吉田ガバナー年度でもあります。我がクラブをあげて一致団結し協力する、というクラブが一つになる時でもあります。

何年か後になって、「あんな事があったね!」「こんな事やったね!」「あれはできなかったな!」と、良くも悪くもよい思い出になると思えます。だからこそ、今、やれる事からやろう!と、今年一年精一杯やって行こうと思えます。

会長を支えて、ガバナーを支えて、皆さんと支え合って、この難局を乗り越えて行きたいと思えます。

◆会長エレクト 小山 市康



山本会長・田口幹事のもと会長エレクトという大役を仰せつかり、身の引き締まる思いでいっぱいでございます。また、吉田ガバナー年度もスタートしました。我がクラブの運営に支障を来さぬ様に、地区の役割をよく考えバランスよく活動をして行かなければなりません。

前年度は新型コロナウイルスの影響を大きく受けてきましたが、今年度もまだまだ予断を許さない状況が続くものと思われまます。今年度会長のテーマである「いまできることから」を会員皆が考え実践することだと思います。それには会員同士が心を一つにし、共に活動して行くことが必要です。ウィズコロナが当たり前の日常になりますが、難を乗り越え良い年に行きたいと思えます。

私も山本会長の後方支援ができるよう努力するとともに、次年度の準備期間としてクラブ運営方法を様々な角度から勉強させていただきます。

また、吉田ガバナーの方針でもある5年後にあるべき魅力あるクラブの姿というものを少しでも掴めるよう、皆様この一年ご指導ご鞭撻をよろしく願います。

◆幹事 田口健太郎



只今、会長から方針等が示されましたが、幹事として会長とガバナーを最大限御支えすべく、一年間職務に励む所存です。

また、皆さまも御存じの通り、100年に一度の感染症が猛威を振るう中での船出となりますが、クラブテーマである「いまできることから」奉仕活動に努め、地区テーマである「ためになる魅力あるロータリー」を会員の皆様と築き、R Iテーマである「ロータリーは機会の扉を開く」クラブ運営に努めて参る所存ですので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

今年度のクラブ運営におきまして、幹事としての最優先課題は、まず「会員皆様の健康と安全」を守ることです。平時ではなく感染症有事の今、最優先されるべき課題は会員皆様のコロナ罹患防止であります。

私は生命保険業でリスクマネジメントを生業にして職業奉仕しておりますが、リスクマネジメントを日本語に訳すと危機管理になります。このコロナ危機とは“肉体的”な危機と“経済的”な危機を意味しますが、“肉体的”な観点で申し上げますと、重傷化する割合が全体の約2割で、うち1/4の方が極めて短期間に命を失う可能性があるという点は、非常に高いリスクを擁しています。また、何が恐ろしいかと言えば、罹患して肺炎症状等を発症すると、あっという間に悪化して酸素や人口呼吸器を要することが多く、家族や会社の事を考え伝える間もなく息を引き取りかねないという点です。ロータリークラブは他の団体と比較して基礎疾患を持つ割合が高く重傷化率も高いため、けっして油断する訳には参りません。

そして、コロナ禍の収束と終息は、「予防ワクチン・治療薬」の登場まで続きますので、それまでの間、ロータリーの活動においてはクラスター発生の予防に努め、国・県・ロータリーの感染症対策を踏まえながら各事業の在り方についても判断し、可能な範囲内で最大限の奉仕活動を展開して参りたいと考えております。

ここに吉田ガバナーが川柳同好会で詠まれた句が御座いますので、ご披露させていただきます。

「格差なし 皆に公平 コロナさん」

この句は、どのような方々も何らかの影響を受けておられる点を詠まれた句ですが、企業家・事業主の多いロータリーは、“肉体的”な危機だけでなく“経済的”な危機を経験された会員も少なからず存在します。我がクラブでは、3月から3ヶ月間の自粛期間を設けましたが、その間、大多数の会員は財務面で自社

対応に追われ、心労を伴う人には言いにくい苦労を経験された方も少なくありません。このような時期に各ロータリアンが考えるべきテーマは様々ですが、ロータリーには「4つのテスト」という素晴らしい指標があります。その中でもこの状況下では、「好意と友情を深めるか」「みんなのためになるかどうか」の二つが、特に求められているように感じます。

自粛期間中、多くの方々と電話でお話をさせて頂きました。会員の皆様が口々に語られるのは、「例会が無くて寂しいね」「例会の曜日がつまらないよ」という日常ではあまり聞こえて来ないものですが、これまでの日常を見つめ直す機会になったと同時にロータリーへの価値を再認識する機会にもなりましたので、感染のリスクを避けつつ無理のない程度で例会に御出席いただき、「好意と友情を深め」「みんなのためになる」皆様の行動によって、一年後に我がクラブがコロナによって“雨降って地固まった”ということになればと強く感じております。

御存じのとおり、日本初のロータリークラブは100年前の1920年に創立され現在100周年を迎えましたが、1918年-1920年にスペインかぜが世界的に大流行した時でもありました。まさに新型コロナが「100年に一度」と言われる所以であります。今後のロータリーはまたもやパンデミックから始まりました。

この新時代におけるロータリアンの使命は、まずは罹患を最大限防止しロータリーの持続性を保つ事ことではないでしょうか。肉体的・経済的危機の中、まずは命あつての奉仕活動ですので、クラブテーマである「いまできることから」奉仕活動に努めて参りますので、一年間どうぞご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

◆副会計 渡邊 淳 (代読)



2020年度、会計を仰せつかりました白井でございます。1年間どうぞよろしくお願ひ致します。

今年度も、昨年度からのテーマでございます単年度会計収支の改善を目標に掲げたいと思います。特に、各会計における経費のあり方を見直すことによって、あるべき会計収支の姿を追求していければ幸いです。

最後に会計の収支バランスを図る最良の方法は、会員の増強であるといえると思います。皆様、是非、会員の増強の方もよろしくお願ひ致します。

それでは、どうぞ1年間よろしくお願ひ申し上げます。

2020～2021年度 7月～10月 テーブルメンバー表

テーマ「今できることは!？」

◎ マスター、○ サブマスター

第1テーブル	第2テーブル	第3テーブル
◎ 金森 欣一	◎ 茂木 知子	◎ 加野 亮一
○ 須永 久一	○ 横溝 亘	○ 我妻 隆邦
西山 潔	小池 将夫	森永 健
渡邊 淳	雨宮 和則	菅田 哲也
石川 正三	吉田 隆男	角野 弘幸
石井亜由美	岩澤 利雄	田邊 正彦
白井 康夫	山木 幹夫	岡部雄一郎
山田 正憲	清水 茂夫	河野 明光
鴻 義久	大橋 秀行	池田 広樹
朝日 達夫	角田 伯雄	青柳 紀
加藤 仁昭	天野 公史	馬場 佳子
北村 大輔	飯田 泰之	吉橋佐千男
中野 真理	山崎 善也	山本 登
田中龍太郎	白鳥 厚夫	伊東 英紀
矢野 修二		

※ テーブルマスターは、ミーティングの内容を簡単にまとめてSAAまでご提出下さい。

会 長	山本 芳弘
副 会 長	赤堀 和人
副 会 長	植田 清司
会長エレクト	小山 市康
幹 事	田口健太郎
副 幹 事	友添 辰哉
S A A	佐藤 勝彦
副SAA	古澤 一憲
副SAA	月山 勇



◆表紙の写真◆

今回の写真は海から空へ・・・。

コロナの影響による減便で、通常時と異なる羽田空港も、少しずつ便数が増えて来ている今日この頃です。

コロナ禍ではありますが、山本機が目的地に向け、羽田空港を無事離陸しました・・・。

安全な飛行を祈ります。

【写真提供 小池 将夫 会員】

次回〈7月17日〉の予定

新年度挨拶

出席、職分・会選、会報、親睦、雑誌、会増